

15章 左官工事(6節 仕上塗材仕上げ)

15.6.6
工

法

(1) 外装薄塗材Si及び可とう形外装薄塗材Siは、次による。

分類	S K K 該当製品
外装薄塗材Si	セラミタイトリシン
可とう形外装薄塗材Si	該当なし

(ア) 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する水の量で均一になるように行う。ただし、溶剤系の下塗材の場合は、仕上塗材の製造所の指定する量の専用薄め液で均一になるように行う。

(イ) 下塗りは、だれ、塗残しのないように均一に塗り付ける。

(ウ) 主材塗りは、次による。

(a) 吹付けの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、仕上塗材の製造所の指定する吹付け条件により吹き付ける。

(b) ローラー塗りの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、所定のローラーを用いて塗り付ける。

15章 左官工事 (6節 仕上塗材仕上げ)

外装薄塗材 Si (砂壁状/吹付け)

セラミタイトリンシ

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	S K K 該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
薄付け 仕上塗材	外装薄塗材 Si	砂壁状	吹付け	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.13	1
				主材	セラミタイトリンシ★	1.3~1.6	2

- (注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ミラクシーラーEPO★」「マイルドシーラーEPO★」「エスケーハイブリッドシーラーEPO★」をご使用ください。
 2. クリヤータイプとホワイトタイプがあります。
 3. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 4. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材（希釈する前）の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

使用可能な下地調整塗材

下地	下地調整塗材	S K K 該当製品	備考(注)3
コンクリート	下地調整塗材 C-1	カケンファイラー★ ミラクファンド K C-1000★	—
	下地調整塗材 C-2	カケンセメントファイラー★ ミラクファンド K C-2000★ ミラクカチオンファイラー★	—
	下地調整塗材 CM-2	(ミラクファンド K C-3000)(注)1	—
モルタル、 せっこうプラスター	仕上塗材の下塗材で代用	水性ミラクシーラーエコ★	仕上塗材の下塗材省略可
プレキャスト コンクリート	仕上塗材の下塗材で代用	ミラクシーラーEPO★ マイルドシーラーEPO★ エスケーハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可
せっこうボード及び その他のボード面	合成樹脂エマルジョンパテ (一般形)	—	適切なものを選択してください。
	せっこうボード用目地処理材 (ジョイントコンパウンド)	—	適切なものを選択してください。(下地がせっこうボードの場合に適用)
けい酸カルシウム板	反応硬化形成樹脂シーラー 及び弱溶剤形成樹脂シーラー	ミラクシーラーEPO★ マイルドシーラーEPO★ エスケーハイブリッドシーラーEPO★	穴うめ、パテかい、研磨紙ずり後に、必ず仕上塗材の下塗材を使用してください。
	合成樹脂エマルジョンパテ (一般形)	—	適切なものを選択してください。
A L C パネル	合成樹脂エマルジョンシーラー (下地調整塗材 E で代用可)	水性ミラクシーラーエコ★	—
	下地調整塗材 C-1	ミラクファンド K C-1000★	—
押出成形セメント板	下地調整塗材 E	S F アンダー★	—
	反応硬化形成樹脂シーラー 及び弱溶剤形成樹脂シーラー	ミラクシーラーEPO★ マイルドシーラーEPO★ エスケーハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可
	下地調整塗材 E	—	—

- (注) 1. () の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 3. 備考欄が「—」のものは、下地調整塗材を塗付後に、必ず仕上塗材の下塗材を塗付してください。